





## 七つの海の制覇目指して

躍進一路 胜る日本海運界

## 新造船と戦標船改造に拍車

### 【本年度内に四十万屯建造の豫定】

待望久しかつた日本船の出港寄港、その第一陣を承わつた大阪船舶會社、船員長門丸は遂に去る二月廿八日その渾濁な雄姿をサントス港へ向わし、爾來十六ヶ月間の碇泊期中船のことであるから、コロニアがどつて沸き立つたもの誠に無理からぬことである、この両三日中にはこれ亦日本が世界に誇る造船技術の輝を盡して新造された優秀貨物船大坂丸のサントス港へ向うて、日伯航路の再開はまさに一陽来復の感があり、更に光榮丸の航航も決定している。計畫が進んである

日本政府は新造船及び戦標船

（註、本稿未載標船の項目参照）などの改造を促すた

め二月廿日の開港で本年度

見返貢金配分計畫、海

運賃實支、豫定の百五

億圓に更に六十九億七千四

百万圓を追加し百八十四億

七千四百万圓とする方針を

決定した。

財源は見返資金のうち豫備費的な經濟再建費が充足さ

れたが、その結果廿

六年内に完成される新造船

は當初十二万総トンであつたが、更に十万吨を増加

し、廿一万総トンの完成が

見込まれている、しかし運

輸省として廿六年度内に

は今後、船臺の模様を見

い意圖である、この中改造

資金（本年度分は五億圓）が振

られ、これは二月廿日以後着工さ

れる▲型貨物船十六隻（即

船大、協立、山下、商船、

板谷二、新日本、三井各

一、T L型貨物船九隻

（即ち全金全

額の各地に

は殆んど日

本人會が地

方的に結成

されている

従前より緊密に繋

く連絡の設立

を要望され

つ、もあらゆる時局的事情

に之が統一的

團體の出現を切

むる信念の人々によつて

此の案なら

あるまい

とあ！これで行こう

すべてを押流して

## 中央日本人會結成の機運動く

### 優良米種も積んで

## 盜難バザール

### エスベランサ

### 婦人會総會

### コロハ何でせう

### 御挨拶

### 日伯興行會社

### 告示 第五號

### 在サンパウロ日本政府在外事務所

### 招請書

### チラシ

